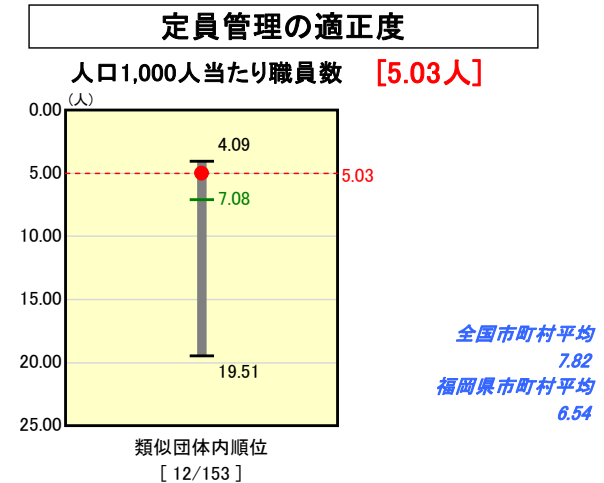
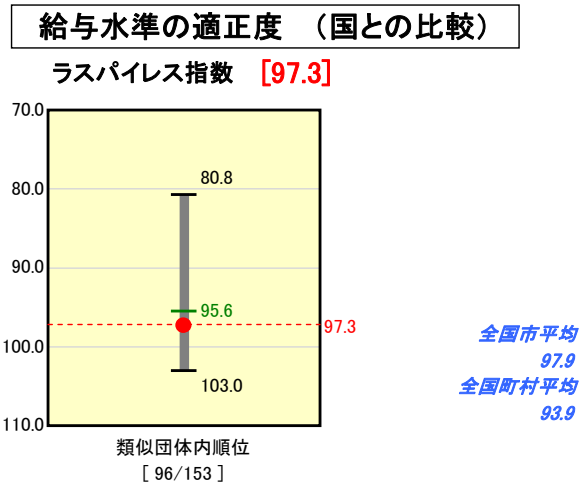
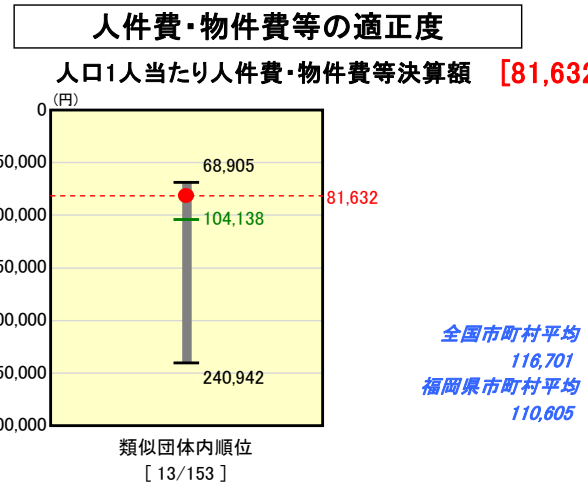
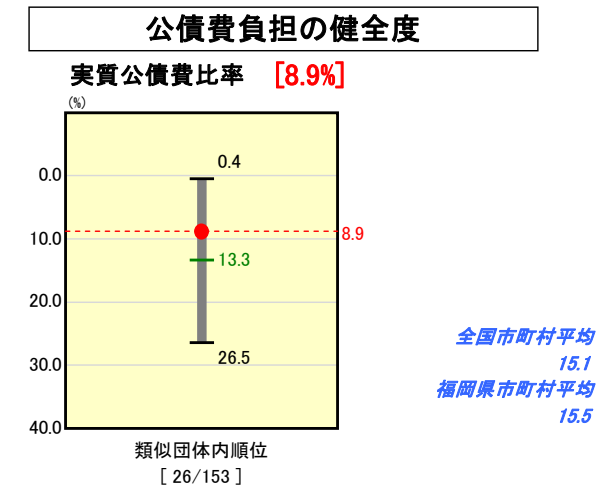
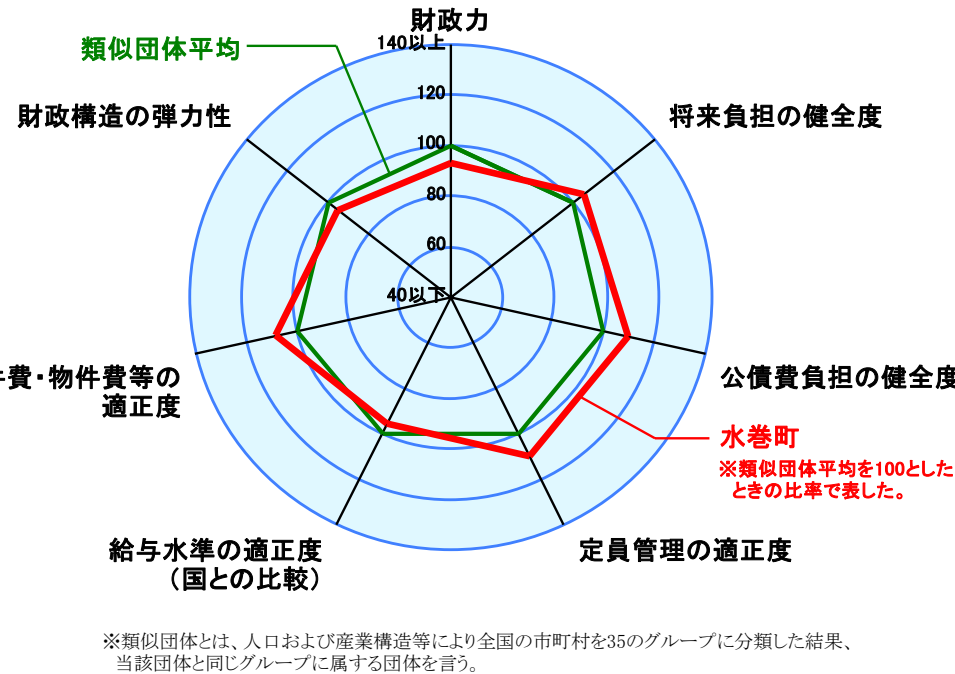
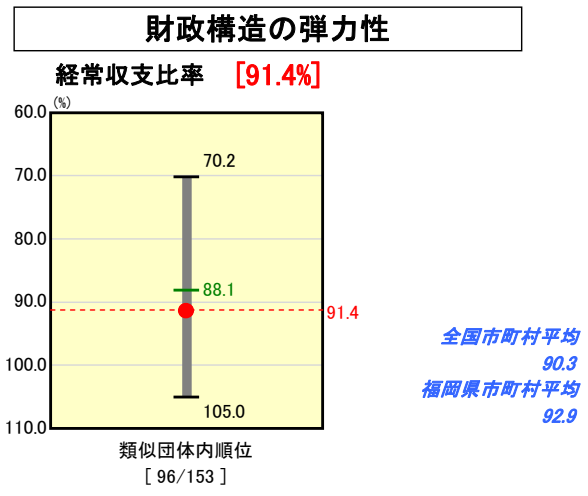
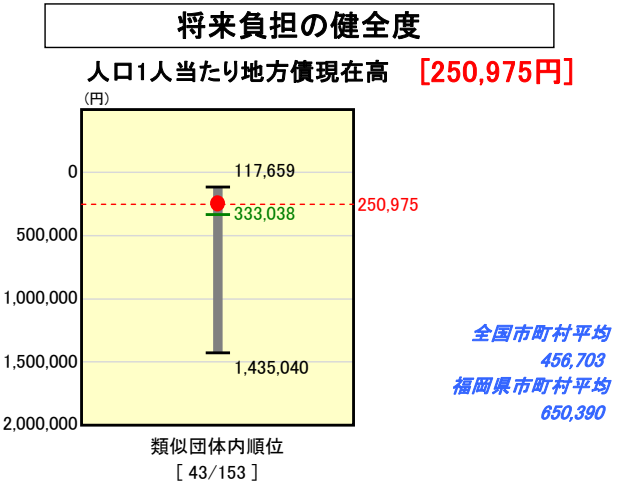
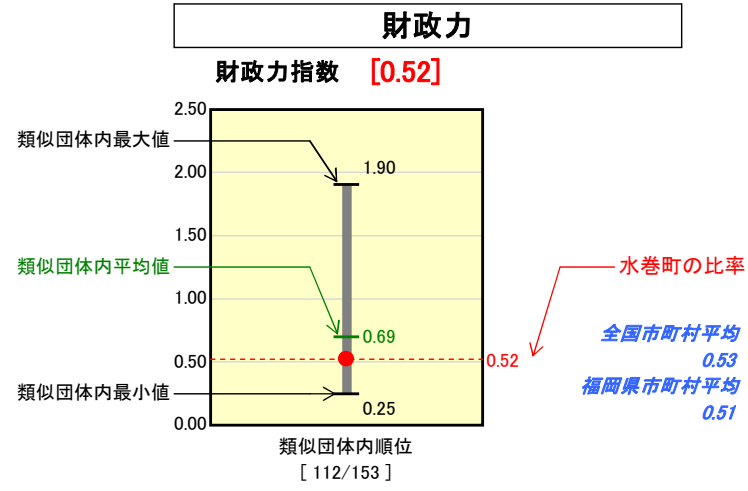


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福岡県 水巻町

人口	30,807	人(H19.3.31現在)
面積	11.03	km ²
歳入総額	7,628,311	千円
歳出総額	7,361,716	千円
実質収支	222,725	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
北九州市に隣接する地域であるが、町の面積が極めて狭く主要な企業進出がないこと。旧産炭地域のため公営住宅が多く、住民の高齢化(18年度末高齢化率22.5%)や人口の伸び悩み傾向を示していることなどから主要な財源となる町民税と固定資産税の担税力が弱く類似団体を大きく下回っている。今後とも財政改革緊急行動計画に沿って、徹底した行政のシステム改革および財政の健全化に取り組んでいく。

○経常収支比率
税法改正による個人町民税の一部増収と所得課税とが大幅に増えたが、一方で公債費、扶助費、他会計繰入金などの歳出累増が経常収支比率の悪化を招いており、類似団体平均を3.3ポイントも上回っているが、当町における前年比は1.0ポイント向上(類似団体比較前年比1.1ポイント向上)しており、18年度から取組んでいる行政改革緊急行動計画の成果が一定程度現れている。

○ラスパイルズ指数
給与の運用基準の見直し及び平成18年度から特例で実施している給料減額措置(2.5%)により、ラスパイルズ指数が平成17年度と比較して5.9ポイント、平成18年度と比較しても2.1ポイント下がっている。今後も国の給与水準を十分考慮し、給与の適正化に努める。

○実質公債費比率
以前からの方針として、地方債は事業費補正措置のあるもの(地方債の元利償還金の一部が普通交付税により補てんされるもの)以外は借入をおこなっていない。また、当町は公営住宅の建設事業債の借入額が多いが、この地方債は家賃収入による財源を充当できることなどから、当指数は類似団体を下回った良好な水準を維持している。ただ、近年の下水道事業の拡大とともに、その起債償還に対する一般会計の負担が増加しており十分な警戒が必要である。

○人口1人当たり地方債現在高
普通会計においては、大規模事業が少なくなっているため、現在のところ類似団体より低い水準を維持している。今後も将来世代への負担をなるべく少なくする方針で財政をおこなっていく。

○人口1,000人当たり職員数
過去からの新規採用抑制や民間委託化などにより、職員数は類似団体を下回っている。今後も平成17年度に作成した定員適正化計画に基づき、平成17年度を初年度として5年間で職員数を12%削減する。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
平成18年度機構改革による行政組織の見直し(18課41係から16課33係体制)や保育所、学校用務員の民営化などの行政改革により、平成18年度の普通会計職員数は155人と年々減少しており、人件費の総額は類似団体を下回っている。

また、各種物件費についても予算編成時から厳しく圧縮しており、併せて行政改革に基づく経費の節減について職員意識を含めて徹底した取組みを行っており、今後も引き続き効率的な財政運営に努めていく。